

## 平成 21 年度当初予算 施策別概要

### 533 東紀州地域の振興

(主担当部：政策部東紀州対策局)

- 53301 持続可能な自立した地域の基盤づくりの推進  
(政策部東紀州対策局)
- 53302 地域の宝に気づき、守り、生かす集客交流の推進  
(政策部東紀州対策局)
- 53303 地域資源を生かし、地域の底力を高める産業振興の推進  
(政策部東紀州対策局)

#### < 施策の目的 >

(対象) 東紀州地域が

(意図) 地域の自然や歴史とともに生きる暮らしを大切にしながら、地域経済を活性化し地域社会を健全に維持している

< 施策の数値目標 > 20 年度実績値は 1 月末現在で把握できる見込み値を示しています。

施策目標項目(主指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
東紀州地域にかかる一人あたりの観光消費額	目標値	-	33,900 円	34,300 円	34,700 円	35,100 円
	実績値	33,434 円	31,230 円			

東紀州地域において観光客が消費する一人あたりの平均利用額

県の取組目標項目(副指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
東紀州地域への観光入込客数	目標値	-	145 万人	150 万人	151 万人	152 万人
	実績値	143 万人	158 万人			

#### < 進捗状況(現状と課題) >

- ・ 「東紀州観光まちづくり公社」は三重県観光販売システムズと連携し、熊野古道など地域資源を生かした観光商品づくり、須賀利のまちなみ等新たな観光資源の発掘、雑誌やテレビを活用した観光情報の発信等により東紀州地域への集客をはかっています。また、地域の事業者ニーズに応じた産業支援策の紹介、観光事業者のサービス向上をはかるセミナー等の開催、後継者育成の事業研究などを行なっているところであり、観光振興、産業振興、まちづくりの面から、さらに地域のコーディネーターとしての役割を充実していく必要があります。
- ・ 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の魅力を広く情報発信していくため、奈良県、和歌山県と三県が連携してスタンプラリー等に取り組むとともに、「熊野古道伊勢路」については、地域や市町と協働し伊勢路を伊勢から熊野までを通して歩く「平成の熊野詣」を実施しているところです。また、伊勢から熊野までをつなぎ伊勢路として発信するとともに歩くための目印とするためシンボルマークを決定しました。今後、このシンボルマークをたどって安心して歩くことのできる環境を整えることが必要です。なお、熊野古道の各峠などへのアクセス向上のためシャトルバスを運行し、来訪者の利便性の向上をはかっています。
- ・ 熊野古道センターは、東紀州地域の伝統技術をもつ匠たちを紹介する企画展や地域の食材を生かした料理教室など、地域の資源を生かした様々な事業を実施していますが、来館者の再訪をはかるための取組を充実させるとともに、地域の多様な主体と連携を密にし、集客交流の機

能を高めていくことが必要です。

- ・ 紀南中核的交流施設は、補助事業者において施設整備が着実に進められており、地域と事業者との連携を促進し、市町と協働して事業推進に向けた調整を行っています。
- ・ かんきつの高品質選果システムの評価と検証を行いながら、優良品種の導入等を進めるとともに、農道やかんがい施設などの生産基盤整備を進めます。また、新規就農希望者に対するサポート体制の充実をはかり、確実に就農へつなげていくよう取り組んでいます。

#### <平成21年度の取組方向>

「東紀州観光まちづくり公社」の地域のコーディネーターとしての役割を強化し、ビジネスの手法を取り入れた自立性・持続性を持った地域の活動の展開・支援、担い手の育成、地域の基幹産業である第一次製品の販路開拓等、産業振興に取り組むとともに地域資源を活用した着地型・体験型観光の事業展開に取り組めます。

熊野古道の保全と活用に関する取組としては、熊野古道伊勢路のサイン整備を進めるとともに、熊野古道の世界遺産登録5周年の記念事業を「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」のオープニングの一環として実施し、国際シンポジウムの開催、「平成の熊野詣」の実施など地域や市町等多様な主体と協働した取組を展開することとします。

熊野古道センターや平成21年7月オープン予定の紀南中核的交流施設を最大限に活用し、地域の魅力を体験できるプログラム等により集客交流につなげていきます。

果樹産地の活性化のため優良品種の導入等を進めるとともに、新規就農者に対するサポート体制の充実などに取り組めます。

#### <主な事業>

##### (重)東紀州観光まちづくり推進事業

【基本事業名：53301持続可能な自立した地域の基盤づくりの推進】

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1地域振興費)

予算額：(20) 22,126千円 (21) 20,884千円

事業概要：東紀州地域が一体となって観光振興、産業振興およびまちづくりを総合的に推進していく「東紀州観光まちづくり公社」に対し市町と連携しながら支援することにより、東紀州地域の活性化を推進します。(東紀州観光まちづくり公社に対する負担金等)

##### (新)ふるさと雇用再生・緊急雇用創出事業(東紀州対策局)

【基本事業名：53301持続可能な自立した地域の基盤づくりの推進】

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1地域振興費)

予算額：(20) - 千円 (21) 41,689千円

事業概要：熊野古道等の地域資源を生かした集客交流や特産品開発・販路開拓による産業振興に伴う東紀州地域での雇用機会を創出します。

##### (舞)世界遺産登録5周年記念事業

【基本事業名：53302地域の宝に気づき、守り、生かす集客交流の推進】

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1地域振興費)

予算額：(20) 5,570千円 (21) 24,244千円

事業概要：熊野古道の世界遺産登録5周年にあたる平成21年度に、市町・地域等多様な主体と協働しながら国際シンポジウム等の記念行事を実施します。(国際シンポジウム等の実施)

(重)熊野古道センター運営事業

【基本事業名：53302地域の宝に気づき、守り、生かす集客交流の推進】

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1地域振興費)

予算額：(20) 63,777千円 (21) 63,936千円

事業概要：熊野古道センターは熊野古道の魅力为全国に情報発信するとともに、熊野古道とその周辺地域の情報収集・集積機能および地域内外の人々との交流機能を果たすよう、多様な主体との連携をはかりながら、さまざまな取組を行います。  
(講演会、企画展、体験学習、交流イベントなど58回開催予定)

(重)中核的交流施設整備事業

【基本事業名：53302地域の宝に気づき、守り、生かす集客交流の推進】

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1地域振興費)

予算額：(20) 134,254千円 (21) 375,399千円

事業概要：紀南地域の振興をはかるため、集客交流の推進に向け、補助事業者による中核的交流施設の施設整備等に対し支援します。(補助金の交付等)

(重)紀南版元気なみかんの里創生事業

【基本事業名：53303地域資源を生かし、地域の底力を高める産業振興の推進】

(第6款 農林水産業費 第1項 農業費 5農林漁業担い手対策費)

予算額：(20) 6,045千円 (21) 5,526千円

事業概要：東紀州地域の重要な産品であるかんきつについて、その需要に応じた品質の果実を供給し、果樹産地の基盤を強化するとともに、担い手確保や地域の人、資源を活かした産業観光の推進に支援することにより紀南地域の産業全体の活性化を促進します。(新規就農希望者への就農研修実施(通年)および新商品づくり研修3回開催予定)